



2018-19年度
国際ロータリー会長
バリー・ラシン

Weekly Report Niigata



2018~19 年度
新潟ロータリークラブ会長
若槻 良宏



インスピレーションになろう

国際ロータリー
2018-19 年度テーマ

インスピレーションになろう

新潟 RC 4 月第 2 例会 (2019.4.9) No.3277(観桜例会 於 ハミングプラザ VIP 新潟)

(1) ロータリーソング「四つのテスト」斉唱

(2) 若槻 良宏会長挨拶

本日は、穏やかな春のよき日に、ここハミングプラザVIP新潟において、ゲストの皆様、新潟ロータリークラブのご家族の皆様、長期交換留学生のレインさんをお迎えし、恒例の春の観桜例会が開催できることを大変うれしく思います。

本日は観桜例会です。新潟市のソメイヨシノの開花状況ですが、今年は、昨年よりも2日遅れて4月5日に開花し、間もなく満開を迎えます。日本の花見の起源は、奈良時代までさかのぼり、当時は主として中国から伝来した梅が鑑賞されていたようです。いま話題の万葉集には、梅を詠んだ歌がおよそ120首みられました。一方、桜の詠歌は40首あまりで梅の約3分の1に過ぎませんでした。平安の時代になりますと、鑑賞の対象が桜に代わっていき、平安期の古今和歌集では、桜が梅を逆転しています。桜を鑑賞する風習は、江戸時代になると庶民に広がり、今に至るとのことです。

さて、本日の例会場、ハミングプラザVIP新潟は、ご案内のとおり、当クラブ会員の坂井賢一さんが代表取締役を務めております株式会社ビップが運営する式場です。素敵な会場を提供いただき、誠にありがとうございます。今年度の会長になる際、リバーサイドのロケーションと、ゴージャスな雰囲気建物の建物に惹かれ、ここで観桜例会を祝えたら、盛り上がるだろうなあと、岡村委員長と相談のうえ、坂井さんをお願いしたという経過がございます。唯一、やり残したことといえば、大澤幹事と、ゴンドラに乗って登場するという計画が実現できなかったことにあります。次年度の山田会長、秋山幹事には是非とも実現していただきたいと願っております。

さて、4月2日に、前橋ロータリークラブの観桜例会に総勢9名で参加してまいりました。当日の新潟は真冬の気候であり、出発時の新潟市の気温は4度、長岡を過ぎるとあたり一面銀世界でした。途中の越後湯沢の気温はマイナス2度

で、新雪が約30センチ積もっていました。トンネルを抜けると、そこには春が待っていました。改めて、自然の厳しさ、豊かさを感じた次第です。前橋ロータリークラブの皆様から、温かく迎えていただき、心も体も温かくなりました。観桜例会では、新潟ロータリークラブの状況について、①女性会員が入会したこと、②ロータリー財団のグローバル補助金を活用したプロジェクトを初めて行ったことなどを説明してまいりました。

懇親会では、前橋ロータリークラブによる恒例のコーラスに続き、新潟ロータリークラブも、前橋にて初めて合唱を披露しました。行きのバスの中でアルコールの力を借りて、「砂山」を数回練習し、また、万が一のアンコールに備えて、「翼をください」を準備しました。小山副会長の指揮と、軽妙なトークにより、会場は盛り上がり、気持ちよく合唱することができました。アンコールを受け、「翼をください」も合唱でき、楽しいひと時を過ごすことができました。今年の参加者は9名と少し寂しかったので、来年はより多くの参加をお願い申し上げます。

最後に報告がございます。第2560地区のガバナーノミネー(2021-2022年度ガバナー)が村上岩船ロータリークラブの佐藤真(さとうしん)さんに決定したとの連絡が地区からございましたので、ご報告させていただきます。輪番制による第1分区からの選出になります。次々年度のリーダーが決まりましたので、新潟ロータリークラブとしても、全面的に協力してまいりたいと考えております。皆様のご協力をお願い申し上げます。

本日の観桜例会が、楽しい春の宴となることを祈念して、あいさつとさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いたします。

(3) ゲストの紹介

会員ゲスト1名 夫人5名 お子さん3名
交換学生1名

(4) 一年交換学生Rane Biekerさん

挨拶・お小遣い贈呈

(5) ニコニコボックス紹介(渡辺 雅美委員)

・徳永 昭輝君(青少年育成基金へ) 2017-18年度青少年育成基金を贈呈したチビ・ユニティーの代表、国友慎之助さんから2019VIBE DANCE COMPETATIONジュニア部門で昨年に続き優勝したとの連絡がありました。3月21日凱旋報告発表会があり子供たちのダンスをみてきました。アメリカでの活躍がuxテレビで報道されていました。昨日、ロスアンゼルスにいる国友慎之介さんから新潟RCでの講演の希望と今後の支援をお願いできないかとのメールがありました。新潟から世界に羽ばたく、若いダンサーたちの今後の活躍を期待したいと思います。

・竹石 松次君 一昨日、今年の3月97歳で亡くなった文学者ドナルド・キーンさんの追悼番組のため京都におられる作家の瀬戸内寂聴さんのインタビューに伺いました。同じ年で親しかったことからお話を聞くため、寂聴さんは「キーンさんは日本文学を世界に広めた功労者です。」と語りました。文化勲章を受章、そして、東日本大震災を契機に日本国籍を取得、新潟が舞台の古浄瑠璃をロンドンで復活上演させました。その模様を私共がテレビで全国放送した縁でこの13日、午後1時50分から1時間BSNテレビで放送します。是非、ご覧下さい。

(6) 4月 9日例会の出席率 65.48%

会員数 90名(出席免除会員 9名)

出席者 55名(出席免除会員 3名を含む)

(2週間前メーク後 87.36%)

4月23日の例会予定

「職業奉仕にまつわる話」

*** 観桜会懇親会 ***

18:00 懇親会開会 司会 岡村健吉親睦委員長

18:00 乾杯: 石本パストガバナー

歓談 食事

18:20 ルーキーズバンド

第一部 40分 休憩 第二部 40分

19:55 中締め 山田会長エレクト

20:00 「手に手つないで」斉唱

20:05 閉会

~*~* 週報コラム *~*~

「姥桜」のこと

小山橋夫

四月二日、友好前橋クラブの観桜合同例会に出席してきました。

会の終わりにメの挨拶を頼まれた。予定していなかったもので、昔一度やった挨拶を思い出して「今日は大勢の姥桜がおられ、楽しく、桜を愛でることができました」と申し上げ、失笑を買った。ご出席のご婦人たちを皮肉った訳ではなかった。

広辞苑第五版によれば、【(葉歯)なしの桜の意からという】①葉に先立って花を開く桜の通俗的総称。ヒガンザクラ・ウバヒガンなど。②娘盛りが過ぎてもなお美しさが残っている年増。浄、賀古教信「小町桜も老いぬれば身は百歳の姥桜」とある。私は、②を噛んでふくめる様に説明した。理解し、納得して頂いたようだった。四月九日の当クラブ観桜例会で、若槻会長はその様子をスライドを用いて投射し、文字まで入れて報告してくれたが残念ながら、肝心の②の解説がなかった。ご出席の会員ご婦人方は、さぞご立腹のことだったろうと目を合わすのを憚った。そこで今回は、コラムを通して私の真意をご奥様方に知らせて頂きたい、と誠に私的なお願いながら週報に掲載して頂いた訳です。必ず読んで頂かないと、私は今後奥様方に合わせる顔が無くなります。宜しく!